

スカウト秋田

2017.10.1 No.128

【発行】日本ボーイスカウト秋田県連盟
秋田県青少年交流センター(ユースビル)内
TEL/FAX: 018-857-0068
<http://www.scout-akita.com>
【印刷】秋田中央印刷株式会社

- ◆ ボーイスカウトの魅力を伝えましょう 1
- ◆ ねりんピックに参加して 2
- ◆ 第17回日本スカウトジャンボリー 4
- ◆ より良い団運営を目指して 5
- ◆ 広告 6
- ◆ information 8



第12回日本ジャンボリー 秋田県森吉山麓高原 1998.8.3～7



ボーイスカウトの魅力を伝えましょう

日本ボーイスカウト秋田県連盟
副理事長 鶴田 有司

私がボーイスカウトに関係するようになりましたのは、平成8年6月の第53団（横手）設立のころです。すでに平成10年8月に「第12回日本ジャンボリー」が開催されることが決定しており、県内各地でボーイスカウト運動が熱気を帯び、横手でも団設立の機運が高まっておりました。ちょうどそのころ小学4年だった私の次男が仲間とともに入団し、父兄として関わることになったのが始まりです。日本ジャンボリーの期間中には、育成会の奥山副会長と差し入れをザックに詰め込み陣中見舞いに現地を訪れました。それが今では懐かしい思い出となっております。34か国26,700名が参加した会場では人の多さに圧倒され、子供たちの元気あふれる声や動きに、私までもが胸の高鳴りを抑えきれないほどの興奮があったと思います。あれから早や20年。当時、県内に30団1,570名いたボーイスカウト

は、この4月には9団200名の登録数とのことであり寂しい限りです。

秋田県は、小学生、中学生の学力が全国トップクラスにあり、全国的に注目されております。これは、本当に素晴らしいことであり、これからも継続していかなければなりません、併せて健全で健康的な子供の育成も推し進めていかなければならないと思います。

自分の息子が参加していて感じたことはありますが、なんといっても自然に親しむことや、物事を自らの力で成し遂げる力を養うこと、また、仲間を作り団体生活の中で自分の役割を見出すことなど、ボーイスカウトにはそれらを身に着けるための要素があるように思います。

秋田県議会でも平成18年に「ボーイスカウト秋田県連盟県議会議員懇談会」を結成し、多くの県議会議員が参加しておりましたが、団の減少とともに参加議員も少なくなり、現在は19名の参加となっております。それでも今後も応援体制を続けていくことを確認しております。

ボーイスカウトの魅力を一人でも多くの方に知っていただき、これからも運動が続いていけるように努力してまいりたいと思います。



特 集

ねんりんピックに参加して

ねんりんピック総合開会式に参加して

私は今回のねんりんピックにボーイスカウト秋田第31団として旗持ちの役割として参加しました。

正直、最初は部活を休んでリハーサルや本番を行わなければならなかったのが気が進みませんでした。行進なんて簡単に出来るものだろう、そう思っていました。しかし、リハーサルで実際に行進してみると、隣の人と歩幅、歩くペース、足踏みの速度等気をつけなければいけない事がたくさんあり奥が深く難しいと感じました。ですが難しい事を完璧にしたいと思い、やる気が出てきました。やはり、度重なる行進練習は疲れます。でも、それをやる事で忍耐力が得られました。

当日は人がたくさん会場に出入りしていて、私は大きな行事に関われる喜びで胸がいっぱいになりました。しかし、それと同時に不安や緊張もありました。行進メンバーには小さな子供もいるので私がしっかりしなくてはという緊張と失敗したらどうしようと思いました。そんな時に私を支えてくれたのが仲間です。私に対して共通の趣味の話を持ち出し、リラックスさせてくれました。そして私は大勢の人の前でも堂々と行進することができました。これが出来たのは度重なるリハーサルと仲間のおかげだと思っています。

ねんりんピックに参加して、私は忍耐力、友情、感動を学べてとても充実した時間を過ごせて満足です。もし、次にこのような企画があれば、是非参加したいと思いました。

(秋田第31団 ベンチャー隊 佐藤 光)



「ねんりんピック」は、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる健康と福祉の祭典です。

当日は、気持ちの良い晴天でしたが、ぼくは緊張していて、心は曇っていました。すごい多くの人がいる中で、きちんとやれるか不安でした。しかし、全国から参加する選手の記憶に残るような良い大会になるように、全力をつくしました。

リハーサルでは成功していたことも本番で失敗したりしましたが、心をこめておもてなしの気持ちを表しました。

少しの時間でしたが、すごく重要な役割をはたすことができ、貴重な経験もすることができて良かったです。

(秋田第31団 ボーイ隊 本間 春翔)

ねんりんピックに参加して

私は、ねんりんピックの開会式で心に残ったことが2つあります。

1つ目は、なまはげ太鼓です。なまはげが声をあげて太鼓を叩いているところはとても迫力がありました。生で見たのは初めてなのですごいと思いました。将志先生も出ていてかっこよかったです。

2つ目は、入場行進です。リハーサルでは間違えることがありました。しかし、本番では堂々と歩くことができました。私は国旗を持って歩きました。他の団の人と協力して行進できました。先導のマーチングバンドの演奏もきれいでいいと思いました。

私は、ねんりんピックの開会式に出演したのが初めてで、国旗を持てたので、嬉しかったです。

(秋田第33団 ボーイ隊 杉山 ひかり)



ねんりんピック秋田2017の開会式。それは、僕がボーイスカウトとして初めて参加する大きな行事でした。

ねんりんピックの始まりの入場行進というだけではなく、ボーイスカウトとはこのようなものだと思われ、知っていただく重要な行事です。リハーサルで動きを確認し、本番に臨みました。

マーチングバンドの演奏がはじまり、入場行進のスタートです。標旗の所で旗を傾け、来賓の方々に敬意を表し、また元に戻す。わずかな時間でしたが、きちんと自分の役割を果たせたと思います。隊長達からも褒めてもらうことができました。

ねんりんピックが終わってからも、普段からボーイスカウトとしての自覚を持ち、様々な事を学んでいきたいです。

(秋田第33団 ボーイ隊 板垣 優輝)

シニアの中で輝いた10代

練習では前の人の足を踏んだり、歩幅が合わなくてバラバラで、きたなく見えていました。

声を掛け合いながら練習をして、1回目、2回目とだんだんきれいに見えるようになりました。本番前のリハーサルではリズムよく行進することができました。

本番では沢山の人がスタンドに座っていましたが、思ったより緊張しないで歩幅に注意し、県旗がたるまないようにピンと張りながらリズムよく行進することができてとても気持ちよかったです。

(秋田第6団 ボーイ隊 日景 明美)



私は「ねんりんピック」の総合開会式において選手を先導する秋田県の市町村旗の騎手として参加させていただきました。

また、中学校の校長先生に「ねんりんピックの開会式に参加させていただけるなんて名誉あることじゃないですか。」と言ってもらい、自分がいただいた役割の大事さを実感し、秋田県の代表として参加者を感謝の気持ちで出迎えたいという気持ちになりました。

自分がこの同じ会場で陸上の競技をしていた時とは遥かに違って、1万7千人という60才以上の参加者の多さに圧倒されました。日本を引っ張ってきたパワーを実感し、自分達もそのバトンを受けつがなければと思いました。

(秋田第52団 ボーイ隊 寺邑 佳祐)

この間は、ねんりんピックの開会式に参加したことで、貴重なとてもよい体験ができたと思います。ただ旗を持って歩いただけでしたが、開会式の一番初めで、大勢の人に見られている中でこのようなことをする、というのなかなか無いことです。何より、これは全国的な行事ですから、なかなか経験できることではない、貴重な体験だったと思います。

このわずか1分ほどの出番のために、練習でかなりの時間を費やしました。でもそのように時間をかけたから良いパフォーマンスができたのだと思います。時間をかけていいものにする、といったことは今後の人生でも生かせることです。なるべく、生かしていきたいです。

(秋田第52団 ボーイ隊 倉田 将行)



第17回日本スカウトジャンボリー（略称：17NSJ） （17th NIPPON SCOUT JAMBOREE）

第17回日本スカウトジャンボリーは、日本連盟創立100周年を迎える平成34年(2022年)に向けて、国内スカウト運動の様々な課題に取り組む大会として認識して、第18回大会以降も続けていく新たなジャンボリーとして、参加形態の変更、プログラムや大会運営方法の見直し等に取り組み、新たな意義を感じさせるために「スカウトジャンボリー」に名称を変更しました。

本大会の目的は、参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤に、国内外のスカウト仲間との相互交流を通じて、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画にある、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会として、また、大会開催地である能登の豊かな風土と自然環境を活かし、地域社会との共生をはかりながら、スカウトたちを魅了するハイアドベンチャーの実践と新たな指導者の養成、確保につなげる機会とします。



テーマ

「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」 （ADVENTURE -NOTO FOR FUTURE-）

開催地である能登は、長い時間をかけて自然と調和した人の営みがつくり上げた里山里海として高く評価され、世界農業遺産に認定されている地域であり、この素晴らしい環境を有した能登の地から、能登の力を活かした未来への冒険を行うことをテーマに、地域社会との連携を深める大会とします。

会期

平成 30 年（2018 年）8 月 4 日（土）～ 10 日（金）

参加者は、8月4日（土）に入場し、8月10日（金）に退場するため、6泊7日間のキャンプ生活をします。

会場

石川県珠洲市蛸島町 「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

北緯37度44分63秒・統計137度32分65秒 海拔 平均5m

参加者

加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウトを参加の主体とし、参加にあたっては、活動を支援する成人指導者とともに加盟登録の団・隊により参加隊・班を編成します。人数の少ない団・隊においては、近隣の団・隊と混成の参加隊を編成することができますが、参加隊の運営は、加盟登録の団・隊を尊重します。

参加費

参加者 1 人あたりの負担金は40,000円とし、日本連盟加盟員は予納金と残額を分割して納入します。（参加者は 1 人あたり10,000円を予納金として、平成29年11月末日までに日本連盟に納入することとします。また、参加費の残額 1 人あたり30,000円を、平成30年4月20日までに日本連盟に納入することとします）



第17回スカウトジャンボリー
会場までの交通案内図

より良い団運営を目指して

団委員研修所秋田第4期 所長 下山 良子

団委員基礎訓練課程である団委員研修所は、参加者が団指導者としての任務を理解し、団の管理と運営の能力を高めることを目的とし、団運営についての基本を学ぶ場です。「基本なくして、応用無し」という諺の通り、団運営も基本がしっかりしていなければ、団の存続、発展も危ぶまれ無に帰してしまいます。

9月16日から2泊3日の日程で開設された団委員研修所秋田第4期には、県内から5名、その他東北及び関東から10名の計15名が参加されました。所員は当県連トレーニングチームのほか、青森県連盟と福島連盟からもご奉仕いただき6人体制での開設となりました。今年度から日本連盟の指導者訓練体系が変わり、団委員研修所のカリキュラムは朝早くから夜遅くまでの過密なスケジュールとなりましたが、参加者の皆さんは真摯に研修に取り組んでおられました。「自団を何とかしたい、良くしたい」との強い思いの現れだと思われます。研修を終えた参加者からは、「団会議や団委員会の重要性が理解でき、大変有意義な研修になった。」「ハンドブック等を読んで理解していたつもりだったが、理解していないことに気が付いた。」との感想がきかれたり、研修前には「自団は基本通りにしっかりやっている。」と言っていた参加者が、「自団とのギャップに気づかされた。今後はそのギャップを埋めていけるようにしたい。」と前向きな思いを抱かれたりと、参加者の皆さんにとっては有意な研修となったことと思われます。この研修をきっかけに、ぜひ、「より良い団運営を目指して」決意を実行に移して頂きたいと思います。

最後に、所長デビュー戦となった私を支えてくださった所員の皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



団委員研修所 秋田第4期

月日：平成29年9月16～18日

場所：秋田県青少年交流センター（秋田市）



ecoで快適な環境を実現
太陽光発電・LED照明・内外装リフォーム・空調メンテナンス

あきた安心リフォーム協会会員・(社)あきた太陽光発電協会会員

JASNA 株式会社 ジャスナ

代表取締役 安宅 信之

〒010-0953 秋田県秋田市山王中園町10-2
Tel.018-874-7457・Fax.018-874-7458

日本の心を奏でる

尺八教室

指導: 三浦龍敏
(秋田大学音楽部講師)

総社神社内(秋田市川尻総社町14-6)
連絡先 TEL 080(5224)3252

ボールペンから事務機まで

和 金 庫 株式会社

本社/秋田市山王三丁目12番2号502号
TEL.018-864-4024
大町店/秋田県大町三丁目4-40番503-505

HIT 株式会社

エイチ・アイ・ティ

〒010-0951
秋田市山王3-1-7 東カンビル7F
代表取締役 川合 俊昭

TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516 ■ URL <http://www.a-hit.co.jp>
ソフトウェア開発 ■ ネットワーク監視ソフトウェア ■ 議会放映システム

(株)くまがい印刷

〒010-0001 秋田市中通六丁目 4-21
TEL: 018-833-2220 FAX: 018-833-6732

「創業明治31年・技術と信用」
塗装工事 外壁塗替 屋根塗替

長谷川塗物店

秋田市大町一丁目4-12
Tel 018-862-2097

住み慣れた地域社会で家族とともに

HAND TO HEART 在宅介護 やさしい手 秋田

介護のご相談、お気軽にお問い合わせください

0120-834-302

創祀 神龜元年(724)
日本の心を永遠に!

神総社

〒010-0946
秋田市川尻総社町14-6 電話 018-863-0930
URL:<http://sosha-j.jp> FAX 018-863-2793

羽毛ふとんリフォーム

ぐっすり睡眠 **圧去枕** あっさりまくら

広島ふとん国道店

秋田市川元むつみ町6-14
018-862-7446

快適な暮らしをあなたに

(株)藤工業サービス

代表取締役 藤原 隆

〒010-1606 秋田市新屋寿町 1-5
☎(824)1631 FAX(824)1677

地域とともに

秋田銀行

<http://www.akita-bank.co.jp/>

秋田市山王三丁目2番1号 TEL:018-863-1212(代表)

置いて安心 使って便利な常備薬

秋田 スパーク 薬品株式会社

代表取締役 吉村 昌之

本社 秋田市川尻みよし町7番7号
TEL 018(862)2505
FAX 018(862)2206
天王営業所 TEL 018(878)4661

DAISO 総合内装業 大宗産業合資会社

代表社員 佐藤 宗春

〒010-0951 秋田市山王6丁目3番30号
携帯 090-5593-9440

住まいのことならご相談ください!

吉兆 HOME

〒010-0946 秋田市山王三丁目5番28号
株式会社 吉兆ホーム
<http://www.kichihohome.com>
TEL 018-862-4250 FAX 018-862-4215

Advertising & Design

KEA

総合広告代理店
有限会社 **アイキアプランニング**

〒010-0953 秋田県秋田市山王中園町10-2
TEL:018-883-1355 FAX:018-824-6262
<http://www.ikea-planning.com>

<http://www.kanehiko.co.jp/>

株式会社 カネヒコ

〒010-0966 秋田県秋田市高陽青柳町17-64
TEL 018-823-8317 FAX 018-864-6353

家づくり、夢づくり、
人生物語のパートナー

株式会社 丸臣高久建設

〒012-0823 秋田県湯沢市湯の原2-2-51
Tel: 0183-73-2889 Fax: 0183-72-0185
URL: www.ie-monogatari.jp

MK 手作り工房 松田建装 株式会社

秋田市仁井田本町6丁目2-16
TEL 018-839-1178

厚物精密板金全般

(株)中嶋精密製作所

代表取締役 中嶋 貞明

〒014-0801 大仙市戸地谷字川前 285-1
TEL.0187-62-1098

ステンレス・パンチング加工・ボンデ鋼板・
ステンコイル・チャンネル文字加工

(有)サービス・なかじま

代表取締役 中嶋小百合

〒014-0801 大仙市戸地谷字川前 285-1
TEL.0187-62-1098

空瓶洗浄

合資会社 大洋空容器

工場長 原 貴彦

〒010-1427 秋田市仁井田字新中島1163-4
電話 (018) 839-2308

秋田大学発ベンチャー 合同会社 **トライガルフ**

さけ・ます養殖の設備更新の際は水槽の半自動掃除機や残餌排出などご相談下さい。
その他、一般家屋用の屋根雪降り装置、省エネ鍋など続々製品開発しております。

〒987-0611 宮城県登米市中田町浅水字中川面 22-2 ☎090-7564-5103 trigulf@xpost.plala.or.jp

見えない危険 隠れたムダを見つけます!

(有)秋田電気管理センター

代表取締役 熊谷 琢次 保安部長 熊谷 直樹

〒010-0946 秋田市川尻総社町10-8 BF TEL018(863)4230



阿部法律事務所

弁護士 阿部 譲二

秋田市山王二丁目 1-54 三交ビル 3F
TEL.018-863-3039**岩渕内科胃腸科
クリニック**

院長 岩渕 朗

秋田市保戸野中町 7-16
TEL.018-896-7270**玉木デンタルクリニック**

院長 玉木 克弥

秋田市旭南3丁目2-73
TEL.018-827-5427**TAKU
歯科クリニック**

院長 佐藤 拓

秋田市寺内字三千刈 325-3
TEL.018-867-8255**こまはし歯科医院**

院長 駒橋 純

秋田市山王2丁目 6-1
TEL.018-862-7047

北秋田営業所 所長代理 杉渕 勝利

北秋田営業所 〒018-3301 北秋田市綴子字大堤道下 95-2
TEL/0186-63-1451 FAX/0186-63-0130
本社秋田・横手・由利本荘・大館・北秋田・能代
k-sugibuchi@tapros.co.jp http://www.tapros.co.jp
携帯電話 090-3649-9967**清水歯科クリニック**

院長 清水 真木雄

秋田市保戸野千代田町 2-41
TEL.018-869-3443**おおすみ歯科医院**

院長 佐々木 嘉一

秋田市大住 3-3-53
TEL.018-836-5222**いしかわ歯科・矯正歯科**

秋田市広面字野添 181

TEL.018-887-3988

医療法人 千成会

★★★歯科・小児歯科・口腔外科★★★

**旭北歯科医院**

院長 千葉 利昭

歯科医師 武田春輔、田尻 太郎、赤川玄次
秋田市旭北栄町 1-4 TEL018 (865) 2931**あんどろ矯正歯科
クリニック**

秋田市東通 4-4-18

TEL.018-837-6480

三浦歯科クリニック

院長 三浦 吉貴

秋田市仁井田本町 5-1-25
TEL.018-839-8219**安倍歯科医院**

院長 小林 崇之

秋田市中通 3-3-28
TEL.018-874-8390**平塚歯科医院**

院長 平塚 新

秋田市御所野元町 2-12-1
TEL.018-862-1888**田中歯科医院**

院長 田中 寛

秋田市寺内油田 3-16-34
TEL.018-857-1133**広幡歯科医院**

院長 工藤 充康

秋田市河辺和田字上中野 126-3
TEL.018-882-2030**千葉歯科医院**

院長 千葉 正明

秋田市千秋矢留町 6-12
TEL.018-832-2438**小澤歯科医院**

院長 小澤 尚久

秋田市土崎港中央 5-10-14
TEL.018-845-0542**たむら船越クリニック**

〒010-0341 秋田県男鹿市船越字内子 224-9

TEL. 0185-22-6789 FAX. 0185-22-6788

<http://www.aobakai.jp/>

院長 田村 広美

Information

スカウトスピリッツ

ボーイスカウト運動に参加されているみなさんはスカウトスピリッツという言葉聞いたことがあるのではないのでしょうか。

今回はこのスカウトスピリッツについて少し考えてみたいと思います。

スカウトスピリッツとはいったいなんなのでしょう。簡単にまとめると良き社会の一員として日ごろの暮らしの中で“ちかい”と“おきて”の実践をこころがけることではないのでしょうか。

日ごろからスカウトとしての誇りを持ち“ちかい”と“おきて”の実践に努めていればきっと良き社会人として成長できるものと思います。

スカウトのみなさんは

徳 性 (品格、人格)

忍耐力 (辛いことなどに耐える力)

気 力 (困難に打ち勝ってやり遂げる強い精神力)

清 貧 (私欲を求めず正しい行いを実践し質素な生活すること)



が実践できているか自分自身に再度確認して個人の成長をはかるとともに良き社会人目指して励んでください。

今後の予定

10月 8日	ODC 外旭川前谷地公園
10月15日	ATRF 太平山オーパススキー場
10月20日～22日	第2回全国県連盟コミッショナー会議
10月29日	防災キャラバン(能代市)
11月 4日	第2回BS講習会
11月11日～12日	ブロック総会(青森市)
11月12日	防災キャラバン(大仙市)
11月18日～19日	全国事務局長会議
12月 9日～10日	全国県連盟ディレクター研究集会
1月14日	新春のつどい
1月20日～21日	第3回全国県連盟コミッショナー会議
1月27日	全国代表者会議
	日本連盟新年賀詞交歓会
2月10日～11日	トレーナー研究集会
2月24日～25日	全県指導者集会
3月 4日	第3回BS講習会

編集後記

★巻頭言として、鶴田副理事長から、「ボーイスカウトの魅力を伝えましょう」と題して、ご寄稿いただきました。ありがとうございます。

★「ねんりんピック秋田2017」開会式に参加したスカウトたちから感想文をいただきました。1月前のリハーサル、1週間前のリハーサル、そして本番と、充実した奉仕活動を行うことができたのではないかと思います。この経験を、これからのスカウト活動に活かしていただきたいと思います。

★第17回日本スカウトジャンボリーについて、佐川副コミッショナーから紹介いただきました。17NSJ以降、自団の隊のままで参加できる方式を取り入れることで、希望するすべてのスカウトが自団の指導者と一緒に参加できるようになり、ジャンボリー参加に向けて団や隊が盛り上がり、中途退団者の抑止やカブスカウトの上進率向上に期待しているとのこと。秋田からも多くのスカウトがジャンボリーに参加することを期待したいと思います。

★団委員研修所秋田第4期下山所長から「より良い団運営を目指して」と題して、ご寄稿いただきました。日本連盟の指導者訓練体系が変更されたなかでの団委員研修所開設、そして、所長デビュー戦、お疲れさまでした。団委員研修参加者にとっても、とても有意義な研修であったようです。

(S . S)